

## 平成 25 年度第 3 回経営会議概要

- 1 開催日時：平成 25 年 9 月 9 日（月）9:00～9:45
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり  
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

### 議題 1 「平成 26 年度三重県経営方針（案）」について

#### ●大橋企画課長（資料 1 に基づき説明）

「平成 26 年度三重県経営方針（案）」については、資料 1 を原案として、今後、秋の政策協議（9 月 9 日～12 日）の議論を踏まえた記述に精査していくこととしたい。

#### ☆石垣副知事

秋の政策協議に臨むにあたっては、経営方針を意識しながら、徹底した議論を行って欲しい。

### 議題 2 平成 26 年度組織定数調整について

#### ●木平総務課長（資料 2 に基づき説明）

平成 26 年度組織機構及び職員定数調整方針素案及び留意事項について説明

#### ☆植田副知事

定数については、業務の見直しをしっかりと行っていただきたい。

### 議題 3 平成 26 年度当初予算フレームについて

#### ●松浦財政課班長（資料 3 に基づき説明）

来年度当初予算要求基準案及び 12 月補正調製方針について説明

#### ●稲垣総務部長

社会保障関係経費や公債費が増加する中で、財政調整基金が大幅に減っており、歳出を圧縮せざるを得ないので政策的経費のシーリング 80%は、大変厳しい数字であるが、全庁的に努力していかなければならず、よろしくお願ひしたい。

大規模臨時的経費などその他の経費についても、これまで以上に厳しく抑制を図っていく必要がある。

国では、リーマンショック後に地方財政計画において創設された歳出特別枠の見直しの方向性の議論もあると聞いており、地方交付税総額の動向も予断を許さない。

財政調整基金の残高確保を図っていくことが、極めて重要であり、12月補正予算の要求にあたっては、予算執行を再度精査して、しっかりと減額を行っていただきたい。

#### ☆植田副知事

厳しい財政状況であり、翌年度の予算要求にあたっては、身を切る思いで、予算要求していただきたい。

☆山口教育長

政策的経費の優先度判断については、昨年度、一律1/3は難しいという意見もあった。優先度判断での要求をやめて、額の縮減については総務部の予算査定でできないか。

☆土井県土整備部長

公共事業も維持管理経費は一定捻出していかなければならない中で、直轄事業負担金も増えているので、よろしく願いしたい。

☆北岡健康福祉部長

重点化施策（少子化対策）については、シーリングの率の上乗せということであるが、個別検討項目のように所要額で要求できないか。

●松浦財政課班長

本日の議論を踏まえて、検討いたしたい。